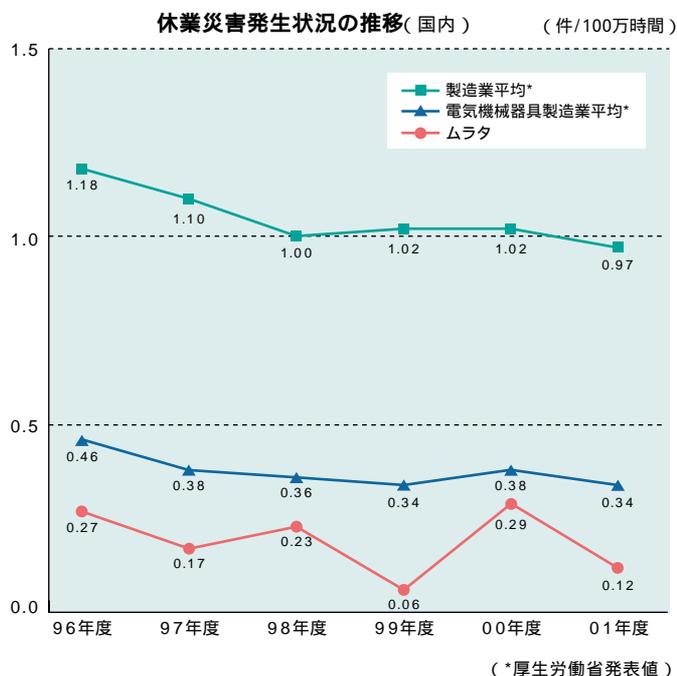


ムラタでは、従業員一人ひとりが安全で健康的に働ける職場環境づくりを目指して、労働安全衛生を推進しています。

労働災害発生状況の推移

ムラタでは、グループ全体として労働災害防止に取り組んできました。これまで進めてきた結果、現在では災害件数は減少し労働時間100万時間当たりの労働災害発生率(=度数率)は電気機械器具製造業平均(国内)と比較してもかなり低い水準にあります。しかし、今後も継続して労働災害ゼロを目指し、事前に災害発生に結びつくリスクを取り除くため、2000年度に化学物質の新規導入時における審査登録制度を、2001年度に生産設備開発時におけるリスクアセスメント制度を導入しました。また、非定常作業における作業の標準化やマニュアル作成、特別な作業観察技法を用いた管理監督者による事故防止などにも合わせて取り組んでいます。



リスクアセスメントの取り組み

1999年の労働省(現:厚生労働省)の労働安全衛生マネジメントシステムの指針を受け、ムラタでもこのシステムの構築・導入準備を進めています。労働安全衛生マネジメントシステムとは、災害の潜在的危険源を減少させ、安全衛生水準を計画的に維持向上させるために「計画 実施 評価 改善」という一連のプロセスを継続的に推進する仕組みです。ムラタでは、このシステムの根幹ともいべきリスクアセスメントを2001年度に導入し、順次指針に準じた安全衛生マネジメントシステムに発展させる方向で導入準備を進めています。

健康づくり活動の展開《THP*活動の推進》

従業員の健康づくり活動の重要性はますます高まっています。ムラタでも健康づくりの基本理念を制定し、これをもとに独自の健康保持増進活動に取り組み、従業員の心身の健康づくりを支援しています。

例えば、運動機能測定や健康診断結果に基づく運動指導や栄養指導を行うほか、より良い生活習慣づくりのため運動・食事・嗜好など生活全般に関して個人で目標を設定して取り組む健康増進活動を実施しています。また、ウォーキングを中心にした運動推進行事やメンタルヘルス講習会などを開催し、心とからだの健康づくりに必要な情報や機会の提供を積極的に行っています。

* THP(Total Health Promotion)

厚生労働省が提唱している心とからだの健康づくり活動

安全衛生フォーラムの開催

ムラタでは、グループ全体としての安全衛生レベルを向上させるため、国内グループ全体を集めて安全衛生大会を定期的で開催しています。安全衛生大会では、安全衛生担当部門、生産技術部門、製造部門が集まり情報収集と意見交換を行っています。1999年からは名称を安全衛生フォーラムと改め、参加者を管理監督者とし、参加者全員が共通テーマについて討議し、安全衛生に関するノウハウや知識・意識のレベルをさらに高め合えるようにしました。

フォーラムは各事業所・生産子会社が持ち寄った安全衛生上の問題や課題に対して具体的な解決策や解決に至るヒントなどを検討し、それぞれの安全衛生活動に活かすことを目的としています。全社レベルでノウハウや対策の水平展開が促進され、実効に結びつく活動として定着しつつあります。